

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	A-730	20-031 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Race- and sex-specific association between alcohol consumption and hypertension in 22 cohort studies: A systematic review and meta-analysis アルコール摂取と高血圧との人種および性別特異的関連: コホート研究 22 件のシステマティックレビューとメタ解析		
<b>執筆者</b>		
Liu F, Liu Y, Sun X, Yin Z, Li H, Deng K, et al.		
<b>掲載誌</b>		
Nutr Metab Cardiovasc Dis. 2020 Jul 24;30(8):1249-1259. DOI:10.1016/j.numecd.2020.03.018.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
アルコール摂取量、飲料種別、性別、人種、高血圧	32446870	
<b>要 旨</b>		
<b>目的:</b> 性別と人種の影響を考慮して、総アルコール摂取量または飲料別アルコール摂取量と高血圧症発症の関係を定量化することを目的とした。		
<b>方法:</b> PubMed および Embase データベースに掲載された論文から、(1)前向き研究でベースラインにおいて 18 歳以上の成人を含む、(2)ベースラインにおいて高血圧のある者を除外している、(3)最も包括的な調整モデルでオッズ比 (OR)、相対リスク (RR)、ハザード比 (HR)、95%信頼区間 (CI) が報告されている、(4) 少なくとも 3 段階のエタノール摂取量を調査し、各レベルのアルコール摂取量について症例数、曝露年、または参加者数を報告しているものを対象とした。抽出された 22 論文 (31 研究) の 414,477 人についてメタ解析を行った。プールされた RR および 95%CI は、ランダム効果モデルを用いて算出し、線量反応関連のモデル化には、制限 3 次スプライン回帰モデルを用いた。		
<b>結果:</b> 高血圧 RR は、エタノール摂取量 5.1~10g/日で蒸留酒、ワイン、ビールの間で異なり (p=0.002)、10g/日では男性 (RR:1.14,95%CI:1.07,1.20) と女性 (RR:0.98,95%CI:0.89,1.06) で異なった (p=0.005)。白人 (p=0.017)、黒人 (p=0.035)、アジア人 (p<0.001) すべてにおいて、線形のアルコール-高血圧関連が認められた。摂取量が 10g/日増加した場合、高血圧 RR はどの人種においても有意に上昇した (アジア人 1.06 (95%CI:1.04,1.08)、黒人 1.14 (95%CI:1.01,1.28)、白人 1.06 (95%CI:1.01,1.10))。		
<b>結論:</b> 性別により、低量のアルコール摂取と高血圧との関連は異なった。黒人は、同じエタノール摂取量でもアジア人や白人よりも高血圧リスクが高い可能性があることが明らかとなった。		